

「にいがた市民大学」運営委員会 会議概要

令和4年度第1回「にいがた市民大学」運営委員会	
開催日時	令和4年5月31日（火） 午後6時00分～午後7時25分
会場	新潟市生涯学習センター 交流ホール2
出席者	委員：追手学長、霜鳥委員、富永委員、中村（恵）委員、中村（美）委員 成田委員、野内委員、橋本委員、山田委員 計9名 事務局：教育次長、生涯学習センター所長、所長補佐、センター職員2名
内容	<p>1 開会</p> <p>2 教育次長挨拶</p> <p>3 学長挨拶</p> <p>4 運営委員及び事務局自己紹介</p> <p>5 議題</p> <p>(1) 委員長、副委員長選出 ◎委員長に中村（恵）委員、副委員長に橋本委員が選出されました。</p> <p>(2) にいがた市民大学について ◎資料1に基づき、事務局からにいがた市民大学のねらいや実施状況等について説明しました。 【主な質問・要望等】 →質問や意見はありませんでした。</p> <p>(3) 市民大学運営委員会等スケジュール(案)について ◎資料2に基づき、事務局から令和4年度 市民大学運営委員会等のスケジュール(案)について説明しました。 【主な質問・要望等】 →質問や意見はありませんでした。</p> <p>(4) 前期講座プログラムの作成について ◎資料3に基づき、事務局から令和5年度の前期講座プログラムの作成について説明しました。 【主な質問・要望等】 ・回数について10回を前提として考えるのか、幅を持たせ、テーマによっては10回に限らなくてもいいのか、またそこまで想定しなくてもいいのか。 →現段階では何回にするかまでご検討いただかなくてもよく、意見交換の中で、回数についてご意見いただきたい。 ・資料8に修了率とあるが、どういう計算か。 →前期講座の70%以上を受講した者に修了証書を渡しており、その率である。</p>

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までは新潟地域学などのカテゴリがあったが、今回はまだ考えなくてよいか。最終的にはバランスを取るのか。また、他に何のカテゴリがあるか。 →現代の社会問題コースなど4つのコースがあり、バランス良く配置して次年度講座を組み立てていただきたいが、現段階ではコースにこだわらずアイデアを出していただきたい。 ・昨年度の議論で、新潟学だけではなく他のコースでも何らかの形で新潟に結び付けた内容にするという話が出た記憶があるが、それでよいか。 ・バランスが大事と思う。まずはアイデア出しということだと思う。 ・講師への謝礼はどのように考えたらよいか。 →にいがた市民大学の謝礼基準に沿っている。高額ではないが、ご理解をいただいている。県内と県外で謝礼基準が違い、県内講師が2~4万円、県外講師が4~6万円でお支払いしている。 ・予算の配分はどう調整しているのか。 →関西や飛行機で移動するような講師をお願いする場合、オンラインの活用をお願いし、県内の謝礼基準を適用している。コーディネーターに講座を組み立てていただくが、そのようにお願いしている。 ・委員が出したアイデアが形になった講座はあるか。 →複数のアイデアをいただくため、選ばれるかどうかは議論によるが、基本的には委員のアイデアから講座を選定する。また、連続講座ではなく特別講座として実施することも可能。 ・新潟学は、新潟市が対象か、新潟県が対象か。 →狭い意味で捉える必要はない。 ・「新潟らしさとは」をいろいろな角度から探し、見つけるような講座ができれば、受講後の活動につながるかもしれない。受講後に動機づけが起こるかが見える組み立て方が必要なのか、勉強になったと満足してもらうのか、加減が結構あると思う。 ・障がい者自身のまち歩きガイドを始めたときに、新潟についてみんなが知っていると思われる情報を知らないということがあった。そういう方々に率先してやっていくことが必要なのではないか。 ・市の総合計画の中に市民像があると思うが、そういうところに近づけるようなエッセンスがあるといい。 ・全講座を受講するのではなく、つまみ食いな横断的に学べるコースがあってもいいのではないか。 ・講座を毎年変える必要があるのか。受講したかったができなかったということもあるのではないか。同じようなテーマでも、講師の方を変えて組み立ててリニューアルしてもよいのではないか。 <p>(5) 大学コンソーシアム連携講座(案)について</p> <p>◎資料4に基づき、事務局から令和5年度に実施する大学コンソーシアム連携講座について、幹事校から提出いただいた講座プログラムを説明しました。</p> <p>【主な質問・要望等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年の歯科検診の義務化が検討されているが、なぜ義務化することが良いのかというときに、病気の予防や医療費が抑えられるなど、いろいろなメリットというところまで普通の人は意識が行かないのではと思う。非常にタイムリーなテーマであると思う。 ・若い人は「白い歯」に弱いというところがある。口内を清潔に保つことが健康にいいとか、見た目も大事というところがあっても良いかもしれない。
-----	--

<p>内 容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟の食と結び付けられることがあれば、触れても良いのではないかと思います。 ・口腔と食は関連していると思う。 ・案①で進めていただきたい。案①の中に案②を入れてもいいのではないか。 <p>(6) 市民提案講座について</p> <p>◎資料 5-1 から 5-3 に基づき、事務局から令和 5 年度市民提案講座の応募状況について報告しました。</p> <p>【主な質問・要望等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案内容の全部ではなく、一部を委員のプログラムに採用するケースが多いのではないか。 →提案内容では実施が難しいが、提案内容を一部採用という形で実施した講座は多数ある。 ・全採用された場合は、コーディネーターはこちらで選定するのか。 →提案者からコーディネーターの推薦がないため、この講座を実施する場合は委員からコーディネーターを推薦いただくことになる。 <p>6 閉会</p>
<p>傍 聴 者</p>	<p>0 名</p>
<p>会議資料等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 資料 1 にいがた市民大学 ・ 資料 2 令和 4 年度 にいがた市民大学運営委員会等スケジュール(案) ・ 資料 3 令和 5 年度 前期講座プログラム様式 ・ 資料 4 令和 5 年度 大学コンソーシアム連携講座(案) ・ 資料 5-1 令和 5 年度 市民提案講座応募状況 ・ 資料 5-2 令和 5 年度 市民提案講座 審査基準 ・ 資料 5-3 令和 5 年度 市民提案講座 講座案評価シート ・ 資料 6 にいがた市民大学について ・ 資料 7 にいがた市民大学運営委員会について ・ 資料 8 にいがた市民大学 年度別受講者数 ・ 資料 9 令和 3 年度 にいがた市民大学開設講座修了者数 ・ 資料 10 令和 3 年度 にいがた市民大学前期講座終了時アンケート結果まとめ ・ 資料 11 令和 3 年度 にいがた市民大学前期講座終了時アンケート結果 ・ 資料 12 令和 4 年度 にいがた市民大学開設講座申込状況